

薬事情報センターに寄せられた県民・医療従事者からの相談事例
(2013年11月)

【適正使用】

Q：子供が海外に行っている。携帯したロキソニンTMS、パファリンTMA、イブTMA、ストッパ下痢止めを飲みたいらしいが、一緒に飲んで良いか？（県民）

A：ロキソニンTMS、パファリンTMA、イブTMAはいずれも鎮痛薬で、一緒には服用せず、どれか一つのみ指示通りに服用。ストッパ下痢止めと、これらの鎮痛薬との飲み合わせは問題ない。

Q：夫が肝臓がんで自宅療養中。足のむくみでラシックスTMを1錠服用中だが、あまり効果がない。私が膀胱炎の時に使った漢方薬が良く効いたので夫に飲ませて良いか？（県民）

A：膀胱炎の原因・症状と肝臓がんによる足のむくみは異なるので、適切な選択ではない。漢方薬にはカリウム等を多く含むものあり、腎臓への影響も懸念される。医師に相談する。

【相互作用防止】

Q：メジコンTM、テオフィリン、トロキシムTMを服用中の患者。オゼックスTMとの相互作用は？（歯科医師）

A：オゼックスTMは、テオフィリンの代謝を阻害し、テオフィリン中毒発現の可能性があるため、併用注意。

Q：ニフェジピンとエナラプリルを服用中の患者。クラリシッドTMかセフゾンTMとポンタールTMとの相互作用は？（歯科医師）

A：クラリシッドTMの代謝酵素CYP3A4の阻害により、ニフェジピンの代謝が阻害され血中濃度が上昇し、作用が増強することがあるので併用注意。
降圧薬とNSAIDsの併用で、降圧作用が減弱することがある。また、エナラプリルとNSAIDsの併用で腎機能障害が増強することがあるので、併用注意。

【妊婦・授乳婦禁忌】

Q：妊娠6ヶ月。ナウゼリンTMの投与は問題ないか？（薬局）

A：動物実験（ラットの器官形成期）で骨格、内臓異常等の催奇形作用が報告されており、妊婦への使用は禁忌。ヒトでの催奇形性、胎児毒性を示す疫学調査はないが、妊娠初期服用で健常児出産例もあり、服用により奇形発生の頻度や危険度が上昇するとは考えられない。妊娠中の吐き気で使用できる代替薬はメトクロプラミドがある。